

## ホワイトハットとディープステートの攻防 ① 6月26日

『マシュー君のメッセージ 197 198 199』のように、新時代への変革は確実に進行しています。しかし、世界の主要メディアがディープステートに支配されているために、ホワイトハットやホワイトハット側の国々の、新時代への政治的・経済的変革は確実に進行していますが、表面化していません。今回は、ホワイト米軍とディープステートの最大の攻防と、イーロン・マスク氏によって生まれ変わったTwitterでの、タッカー・カールソン氏の、メディアの嘘を暴露した動画を特集しました。

現在、トランプ大統領の裁判のニュースが報道されていますが、前回の裁判と同様に、腐敗したFBIと司法と検事によってでっち上げられた、全く逮捕の実現性のないものです。しかし、報道されていませんが、現在、米下院で進行中のバイデン大統領の副大統領時代の汚職に関する追及は、確実にバイデン大統領の逮捕に至る、明確な証拠が次々と表面化してきています。金融システムの変革は、もう王手がかかっています。7月中には表面化すると思っています。以上の事柄は、『ホワイトハットとディープステートの攻防 ②』で解説する予定です。



マシュー君のメッセージ(197)  
2023年4月3日 玄のリモ農園ダイアリー

<http://moritagen.blogspot.com/2023/04/blog-post.html>

### 光対闇の進展、メンターとしてのライトワーカー、ET宇宙船着陸は安全が確保されたとき、愛と光の放射、偽の情報、密度、進化した宇宙文明社会

マシューです。この宇宙ステーションにいるすべての魂から、ここからのご挨拶をします。光の勢力と闇の勢力との長く続いてきた戦いのこの最終幕の間、地球はボランティアたちと地球外文明社会、そして増え続ける目覚めた、そして目覚めつつある魂たちの光で輝いています。政府の闇の政策に反旗を翻す市民がどんどん増えているのも、**銀行システムに亀裂が入っているのも**、コロナロックダウン、検査、ワクチン、偽造された統計などの経済的な点を結びつけて公にしている人たちがいるのも、ますます強まる光のせいなのです。

しかし、フィナーレの大部分はまだ舞台裏で繰り広げられています。イルミナティは、各国政府が自分たちの言いなりになることを拒んでいるので、世界経済の支配力を失いつつあります。**イルミナティが敵に回したいと思っている国々は、代わりに闇の者たちやその凶悪な活動を世界から排除するために同盟を結んでいます。**  
**人道に対する罪や反逆罪で告発された人物の逮捕と裁判が続いています。**

地球が闇から光へと移り変わるこの最終段階において、**短期間の混乱は避けられないと思われ、一時的なロックダウンは確実に起こるようです。**  
後者は保全的であり、まだ眠っている魂の目覚めを早める極めて重要な出来事なのです。この後に、いくつかの紆余曲折が続きますが、長続きはしないでしょう。

また、小氷河期や突然の地球物理学的変動、その他の予言された破局的な出来事もないでしょう。**真実の情報が反論できない証拠として世に出始めたとき、辛抱強く待っていたあなたたちは喜びをもってそれを迎えるでしょう。しかし、あなたたちの多くが予想しているように、多くの人々はショックを受け、混乱し、憤慨し、恐怖を感じるでしょう。**

その時、勇気づけられる存在として、冷静かつ自信を持って、受け入れる魂たちに、**今起こっていることはすべて、地球の長い闇の時代を終わらせるものだ**と説明してください。

この重大な転換期について、宇宙文明社会がどのように地球を助けてきたか、そしてこれから起こる素晴らしい変化について、あなたたちが伝えることをサポートする本やウェブサイトを紹介するのも役に立ちます。

少数の“持つ者”と数十億の“持たざる者”の間の不条理な格差は終わり、誰もが地球の豊かさを分かち合うことになるでしょう。**現在の腐敗したシステムに代わる希金属に基づく世界経済システム**は、正直に稼いだ貯蓄と投資を保護するでしょう。

**闇の人間たちが悪意を持って使ってきた科学技術の発展が、彼らの支配から解放され、人々に役立つように使われるようになるでしょう。地球の傷ついた環境は修復されるでしょう。医療、教育、交通、通信、農業、建設などにおいて、いわゆるフリーエネルギーと壮大な変革が起こるでしょう。**

これらの変化に対するポジティブな思考と感情の強力なエネルギーが、それらを顕在化し、愛が人生の基盤となる地球の黄金時代へと導くことを、人々は知る必要があります。

過去、現在、未来が同時に起こっている時間を超えたコンティニューム(時空連続体)の中で、その輝かしい時代はすでに存在していることを知る必要があります。

親愛なる魂たち、啓蒙という仕事を引き受けることに不安を感じることはありません。

あなたたちの知識が必要とされる瞬間が訪れたとき、他の宇宙文明社会が“光を見る”のを助けたあなたたちのこれまでの経験が前面に現れて、自動的に導かれるように感じることでしょう。

さて、あなたたちの他の興味や関心についてお答えしましょう。

「マシューの宇宙ステーションにいる魂たちは、ETの宇宙船クルーがいつ着陸するか、知っているのでしょうか？」

いいえ、わかりません。僕たちが知っているのは、宇宙船クルーと彼らを迎える人々にとって安全が確保されるまで、着陸はありえないということです。

神は、全員に安全が確保されたときを見極める権限を艦隊司令官に与えました・・その時、神は艦隊司令官に"Go"と告げることになっています。

そのときは、あなたたちの間に住む地球外生命体の特殊部隊が自己紹介をするのも安全になっているでしょう。闇の人間たちの時間はどんどん短くなっているので、ボランティアたちの地球への貴重な奉仕に感謝し、地球人たちと交流することを熱望している宇宙ファミリーに、“**近いうちに”出会える**と考えるのが自然でしょう。

地球内部にある素晴らしい都市に住んでいる魂たちも、あなたたちと知り合いになることを望んでいます。

彼らは、荒廃した環境を健全な状態に戻すための手助けをしてくれるでしょうし、それは、あなたたちが驚くほどのスピードで達成されるでしょう。

スピードといえば、あなたたちボランティアによって放射され、遠く離れた宇宙文明社会から送られている光のおかげで、この宇宙では前例のないスピードで地球上の生命の変容が起こっているのです。

そのような援助の申し出を断った第3密度文明社会は、スピリチュアルと意識レベルで第5密度まで進化するのに5万年もかかりました。

以下略



マシュー君のメッセージ(198)

2023年5月1日 玄のリモ農園ダイアリー

<http://moritagen.blogspot.com/2023/05/blog-post.html>

光の進展、経済報告と深刻な思惑、神と私たちの自由意志／存在と地球上の魂が待ち受けるもの

マシューです。この宇宙領域にいるすべての魂から心からのご愛挨拶をします。

ますます強まる光への反応を示す証拠がいくつか世界の舞台で見られます。

**イスラエル国民**は、ベンヤミン・ネタニヤフ首相が押し進める司法改革に抗議しており、同国におけるイルミナティの影響力を強化する彼の狙いは崩れつつあります。

再び**スーダン**の市民が、民主主義を確立するために戦っています。

**この国では、イルミナティは現在はむしろディープステートと呼ばれています**が紛争と暴力を絶え間なく引き起こしているのです。

そして、**米国の一部のニュースキャスター**が、ついに未確認飛行現象、つまりUFOと地球外文明社会の可能性を取り上げました。

しかし、地球が長い闇の時代から解放されつつあるという証拠のほとんどは、まったく明らかになっていません。それで、僕たちの権限内でできるものをここに共有しましょう。

**“ホワイトハット”と一部の人たちが光の勢力を呼んでいます**が、その存在がウクライナにおけるディープステートの活動に対する資金源を断ち切ったため、ロシア軍がウクライナ全土で闇の活動箇所を発見し破壊し続けているにもかかわらず、財政的には戦争は終結しています。

経済学者が知っているように、経済的基盤のない何十億ものコンピューター取引である商取引システムの外でビジネスを行っている国が増えています。

**コビッド19”コロナパンデミック“、人身売買、マネーロンダリング、生物兵器の製造、その他の凶悪な活動を担っていた世界中のディープステートのスタッフが逮捕、裁判、有罪判決、死刑、または単に暗殺されています。**

**”大統領“が仮面をつけたディープステートに操られたた役者であり、他の主要人物は、死んだり逮捕されたり隠れている本物の人物を演じるために雇われたそっくりな替え玉であるというアメリカ合衆国大統領府の合法的な政権排除計画が進行中です。**

これらや他の事実は、賢明な指導者たちがそうすることが適切であると判断したときに、段階的に明らかにされ、その結果としての改革について説明されることになるでしょう。

権威ある地位のある人や有名な人が闇の活動に関与していると聞けば、何の疑いもない人々はショックを受けるだろうし、慣れ親しんだシステムや手続き、制度が変わることを知れば、“権威ある当局”によって自分たちの**最良の利益が守られていると信じるようにプログラムされてきた人々は怖く感じるでしょう。**

インターネット上では、深刻な経済情報があふれており(大手銀行の倒産が加速している)、多くの人々が預貯金や投資がどうなるのかと不安に感じているのは理解できます。

**お金が無くなることを恐れることはありません**。宇宙の引き寄せの法則は、そのような思いのエネルギーと一致するものを宇宙のスープから引き寄せてしまいます。

新しい世界経済システムが導入される際には、それがどこにあって、まともに稼いだお金へのアクセスが妨げられないように最大限の努力が払われるでしょうし、**すべての国の通貨は同じ価値を持ち、金やその他の貴金属によって裏打ちされることになるでしょう。**

以前のメッセージで伝えたように、僕たちは金融アドバイザーではありませんが、ロックフェラーが支配している**暗号通貨**がいつでも使えると期待するのではなく、いま使ってしまうことを繰り返し勧めます。

デジタル経済システムが決して安全でないと断言しているのではなく、ロックフェラー一族がコンピュータを数回クリックするだけで、それらのシステムを消し去ることができる断言しているのです。

そして、核攻撃と報復という話もあります。もしそうなったとしても、地球外生命体ファミリーは核兵器を機能させないでしょう。

気候変動による地球の深刻な未来についての報道やさらなるパンデミックに備えなさいという  
“専門家たち”の忠告は、すべて無視してください。

④

最愛の地球ファミリー、騒動、混乱、嘘、暴力、恐怖は、第3密度の世界が長年の闇から解放される時には  
避けられないものなのです。

あなたたちは、自分が引き受けた使命を見事にこなすための強さ、知恵、勇気、忍耐力が十分に準備されて  
いた過去のいくつもの自分の転生を覚えていませんね。

だからこそ、光のメッセンジャーがあなたたちの不安を消し、起こることを明確にすることで、あなたたちが自信、  
確信、楽観という光の高い波動をしっかりと放射できるようにすることが、神性な計画の一部なのです・・

そして、その計画は的中しています。

これを“意識のサポート”と呼ぶことにしましょう。あなたたち個人にとっても、地球文明社会を助ける上でも、  
同等の価値を持つのが“スピリチュアルなサポート”です。

無条件の愛を送り続けるとともに、僕たちはあなたたちの直観的な知識を裏付ける時代を超えた情報を提供し、  
それをあなたたちは目覚めた魂たちに伝えていくのです。

—以下略—



マシュー君のメッセージ(199)

2023年6月1日 玄のリモ農園ダイアリー

<http://moritagen.blogspot.com/2023/06/blog-post.html>

光の進展、イルミナティの財産、ライトワーカー、創造主、宇宙のはじまりと魂と善悪、レプタリアンの侵入

マシューです。この宇宙領域にいるすべての魂から心からのご挨拶をします。

力の劣る文明社会人は闇のパワーの餌食になると、その低い波動エネルギーの中に閉じ込まれました。

光を奪われた状態である、争い、無知、貧困、恐れは、闇が人々を支配する手段であり、それが地球人類に  
起きたことです。

約90年前、光の枯渇によって地球の生命そのものが危機にさらされたとき、ガイアは助けを求めました。

そこで、地球とその住民を愛するあまり、たくさんの高度に進化した宇宙文明社会が惑星地球に光を送り、  
その魂が高く進化した世界を離れ、地球に転生して光を加え始めました。

その強まった光のために、世界中で紛争や混乱が起きているのです・・それは世界が闇の支配から解放されて  
いることの一部です。光の高い波動エネルギーが低い波動エネルギーとぶつかり合い、それを圧倒することで、  
長い、長い闇の時代に終わりを告げているのです。

愛する魂たち、あなたたちが明確で反論の余地のない証拠を求めていることを知っています。

Gネサラがいつ発表されるのか、新しい世界経済システムが導入されるのか、違法なバイデン政権は排除される  
のか、すべての国に触手を伸ばしている連邦準備制度は廃止されるのか、知りたいのでしょうか。

腐敗した政府に反抗している市民は、叡智と誠実さを備えた指導者がいつ現れるかを知りたがっています。

また、あなたたちもすべて、まだ隠されている多くの真実がいつ明らかになるかを知りたがっています。

僕たちは、“近いうちに”以上のことを言えたらいいのですが、そのような重要な進展がいつ起こるか正確には  
わかりません。

できることは、聖なる計画(Devine Plan)が確実に目標に向かっており、地球外生命体ファミリーが“ホワイトハット”と呼ばれる光の解放勢力の一部であることをあなたたちに保証することです。

そして、このわずか2年ほどの間の光の進捗を思い起こさせてください。

イルミナティの第三次世界大戦を起こそうとするもろみは失敗し、核弾頭搭載ミサイルで戦略都市を破壊しようとする試みもすべて失敗しています。

彼らのコロナウイルスは何十億もの民衆を殺すことはできませんでした。

また、ワクチン接種でその目的を達成しようとしてもうまくいっていません。

主要メディアに対する彼らの支配力は崩れつつあります。

いくつかの国で、彼らの生物兵器の研究所や貯蔵施設、性売買、小児性愛、悪魔の儀式、アドレノクロムの製造、マネーロンダリング、サイバー攻撃のセンターが取り壊されました。

彼らの極悪非道なピラミッドの頂点に立つ人物の多くが排除されています。

イルミナティの拠点は、違法かつ不道徳に蓄えられた財産です。

光の勢力は、彼らを資金から引き離し、その資金を大衆の貧困をなくすために使用する活動をしています。

もし、あなたたちがそのような規模の取り組みを手伝うことは、自分の能力を超えていると思っていれば、それは違います…それはあなたたちの、いわば、得意とするところなのです。

人々の目覚めを助けているあなたたちの光は、地球から闇をなくすためのあらゆる活動を支えています。

僕たちは、あなたたちが自分をパワーある存在だとなかなか思えないことを知っていますし、それは理解できることです。病気や不機嫌、幻滅、怒り、焦り、疲れを感じることもあるでしょう。努力してもうまくいかないこともあるし、後から振り返ってみて残念と思うような決断をすることもあるでしょう。

いつでも満足のいく仕事や十分な収入、公平な待遇が得られるわけでもなく、ただただ惨めな日々を過ごすこともあるでしょう。

それが第3密度の世界での暮らしの一部であり、あなたたちが地球に行くことを志願する前…そしてあなたたちは熱意をもって志願したのですが…それが自分が経験することであるとわかっていました。

また、そのような感情や状況は本来のあなたたちとは無縁のものなので、どんな障害に遭遇しても乗り越えていくこともわかっていたはずですよ。

あなたたちは永遠の愛と光の存在であり、あなたたちの高い波動エネルギーは、あなたたちがそこにいたすべての年月の間、地球をより良くしてきました。

ただ存在するだけで、あなたたちはそれだけパワフルで影響力のある存在なのです！

—以下略—

### 軍とトランプがディープ・ステート記念日のブラックアウトを阻止する

By [TXWon](#) 2023年6月5日

By Michael Baxter -2023年6月5日 ([Real Raw News](#)より翻訳)

アメリカ軍のホワイト・ハットは、メモリアル・デーの週末にアメリカの電力網を麻痺させ、大混乱を引き起こそうとするディープ・ステートの試みを阻止したと、エリック・M・スミス将軍の事務所の関係者がReal Raw Newsに語った。

連休に先立ち、将軍府は、ディープステートが、数千万世帯の電力をまとめて供給する国内の2つの同期送電網、東部相互接続と西部相互接続に対する多方面からの攻撃を計画しているという「信頼できる情報」を受け取った。

東部相互接続は、カナダ中部から大西洋岸、南はフロリダまで、そしてロッキー山脈の麓まで伸びています。西部相互接続は、カナダ西部から南はカリフォルニア州バハまで、東はロッキー山脈を越えて大平原まで伸びている。全米の送電網から切り離された独立した送電線を持つテキサス州は、攻撃計画に含まれていない。

CIAの内部告発者が5月19日にキャンプ・ペンドルトンに到着し、犯罪者であるバイデン政権が送電網をハッキングして国を混乱に陥れるという複雑な作戦を実行に移したと、悲惨な警告を発したという。

彼は、CIA長官ウィリアム・バーンズの承認を得たデジタル文書を持っており、ディープ・ステートの手法と米国を暗闇に陥れたい動機を概説していたと伝えられている。

5月26日午後9時(米国東部標準時)、ディープ・ステートはウイルスを起動させると、内部告発者は語った。5月10日までに、CIAは「外国人俳優」を雇い、コロラド州とジョージア州の「遠隔侵入センター」に、アメリカン・エレクトリック・パワー社や他の大手電力会社のメインフレームにウイルスを送り込むのに必要なハードウェアを配備させたという。文書によると、侵入センターを運営するために雇われた人物は、世界で最も熟練したサイバーセキュリティの専門家の人であった。

ウイルスは海岸から海岸まで系統的に送電網を崩壊させ、エネルギー伝送の信頼性を監視するのが仕事の電力会社のエンジニアは、ウイルスを軽減したり、すぐに浄化したりする力がない。

CIAの文書では、48時間の暗闇が予想され、その後、ウイルスは「自己消滅」し、送電事業者は問題を解決して徐々にサービスを回復するとされている。

その頃には、この国は大混乱に陥っているだろうとCIAは計算していた。

もしこの国が暗闇に覆われていたら、FEMAの暴徒、略奪者、そしてそう、強姦者が国中で暴れまわり、市民的不服従と騒乱を扇動したことだろう。彼らは家や会社を略奪し、抵抗するものは容赦なく撃ち殺すはずだった。一方、民兵組織に組み込まれた連邦捜査官は、メンバーに武器を取るよう扇動し、ディープ・ステートが支配していることを部隊に伝えることになる。

大統領執務室のレプリカから、バイデンは危機を中国の妨害工作のせいにして、政権が権力と秩序を回復するためにあらゆる手段を講じていることをアメリカ人に約束した。

国家が狂気に陥る中、バイデンはMAGA信奉者がカリフォルニアからニューヨークまで、たいまつとピッチフォークで民主党議員を惨殺していると世界に発信する。彼は、愛国者を装った政府の情報提供者によって行動に移された愛国者に対し、司法省を解き放つだろう。

さらに悪いことに、CIAの評価は、「演習」に伴う壊滅的な巻き添え被害や人命の損失に対処するよりも、愛国者を刺激して「アメリカ人の決意を試す」ことに関心があるようだった。

全国の航空機の出発は停止し、飛行中の航空機は空港の予備発電機が故障して滑走路が暗くなる前に着陸または迂回するよう競争することになる。重大な事故が発生する可能性は高い。地上では、鉄道のスイッチが故障し、衝突や脱線の可能性が高まった。大惨事の可能性は、数え切れないほどある。

2日間の暗闇の後、政権は魔法のように電力を回復し、防ぎようのない停電を素早く解決したことに拍手喝采を送るだろう。バイデンは、中国の妨害工作員の話の撤回し、許しがたい過ちを犯したとして習近平に謝罪するだろう。その代わりに、停電の原因をプーチンに求め、ウクライナへの資金援助を強化するよう求めるだろう。ホワイト・ハットが介入しなければ、上記のようなシナリオが展開されたかもしれない。

情報筋によると、スミス将軍は、過去に信頼できる情報を提供していたため、スパイを基地に入れることを許可したとのことだ。FBIとCIAの“裏切り者”は、ディープ・ステートに対するホワイト・ハットの戦いを助けるのに役立っていることが証明されている。

しかし、内部告発者は、ディープ・ステートがコロラド州とジョージア州のどこに侵入センターを設置したかを知らなかった。彼はスミス将軍にその場所を知るよう努力すると告げ、将軍は数え切れないほどのホワイト・ハットを招集し、ディープ・ステートのサイバー侵入施設の所在を把握するために、あらゆる便宜を図るよう命じた。

このジレンマを解決するには、1週間で切っていた。

スミス将軍はトランプ大統領に状況を報告し、2022年3月にFEMAのマウント・ウェザー拠点への襲撃でホワイト・ハットが押収したEBS(携帯電話からケーブルテレビ、インターネットのバックボーンまで、あらゆる通信を遮断できるコンピューターネットワークである「緊急放送システム」)を発動する時期なのかどうかを尋ねた。

トランプ大統領は将軍に、迫り来る危機を反芻し、“私に借りがある人々の大きな好意“を呼び寄せる間、EBSの発動は控えるよう告げた。EBSの発動が早すぎると、愛国者に武器を持たせることになり、ディープ・ステートが愛国的なアメリカ人に報復する現実的な理由を与えてしまうかもしれないとトランプは言った。

その後2日間、米陸軍のレンジャー、特殊部隊、デルタフォースは、ジョージア州オーガスタとコロラド州コロラドスプリングスで行き詰まった。情報をもとに2つの倉庫に侵入したが、そこにはコンピューターもインターネット接続もなく、空っぽだった。

私たちの情報筋によると、ホワイトハットはさらにいくつかの空の建造物を襲撃し、トランプ大統領が真実味を帯びた情報をスミス将軍に電話したときに希望を失っていたという。

トランプ大統領は情報源の身元を明かさず、ディープ・ステートの壕はコロラド州プエブロとジョージア州アテネの近くにあると言った。彼はGPS座標まで持っていた。

特殊部隊は一斉にコロラドへ、デルタはジョージアへ出発した。

プエブロで特殊部隊が調査した自動車修理工場は、事務所のドアの上に「追って通知があるまで閉店」の看板がかかっていた。2つのペイドアは閉まっており、駐車場には誰もいなかった。遠くから建物をガラス張りにし、窓から2つの机の上にコンピュータを見たが、人の姿はなく、自動車修理工場特有の工具もない。

特殊部隊がプエブロの店を監視しているとき、アテネのデルタフォースは、コインランドリーであるはずの店を監視していた。しかし、店内には洗濯機や乾燥機、衣類をたたむためのテーブルの代わりに、数台のコンピュータ端末が置かれていた。

「我々が正しい場所を見つけたことに疑問の余地はなかった。そして、その場で閉鎖するか、23日まで待つかの決断を迫られた。スミス将軍は待つことにした。犯人を捕まえて特定するか、殺すかしたかったのだ。彼は、我々が接近戦を挑むことを知っていたのだ」と情報筋は言う。

5月26日午後6時(東部標準時)、白いフォード・エコノリン・バンがプエブロの自動車販売店の駐車場に停車した。ヘッカーラー&コッホ社のMP5サブマシンガンを持った3人の男が車から降り、入り口まで歩いてきた。

先頭の男はキーホルダーをもてあそんでいたところ、弾丸が眉間を直撃。彼は倒れた。

もう1発の弾で2人目の犯人は倒れ、残るは1人の悪党だけとなった。彼はライフルを構え、空に向かってやみくもに撃ち、弾倉を空にした後、バンに向かってダッシュした。物陰から6人の特殊部隊が現れ、彼を取り押さえた。中に爆弾が仕掛けられていることを想定して、彼を盾にしてドアを開けたのだ。中に入ると、ガソリンの香りが鼻腔を突いた。仕掛けはない。しかし、ガスが入ったジップロックが壁に貼ってあり、サイバーテロリストになりそうな連中が仕事を終えた後、この場所を燃やすためのものと思われた。

特殊部隊はコンピュータを押収し、捕虜と死体を数ブロック離れた場所に停車中の無登録車両に積み込んだ。

デルタフォースは、ジョージア州でも同じようなシナリオを経験した。しかし、このときは発砲はなかった。彼らはドアを開けるやいなや、デルタフォースのオペレーターが彼らを車から引きずり出し、無力化させた。囚人たちに猿ぐつわをし、ジップタイで縛った後、彼らは「コインランドリー」からハードウェアを取り外した。

トランプ大統領はすぐに評価されたと、我々の情報筋は言った。

「勇敢な男たちとトランプ大統領のおかげで、災難は回避された。

我々はバーンズCIA長官(の逮捕)を望んでいるが、彼は保留地を出てしまった。囚人たちの尋問についての状況報告は受けていない。アメリカは安堵のため息をつくべきだ」と、この情報筋は語った。



米FOX降板の看板キャスター、「ツイッターで新番組」  
2023/5/10 産経ニュース [平田 雄介](#)

<https://www.sankei.com/article/20230510-EDLPHWLORROZXHTBROF4WIHEDM/>

米保守系テレビ、FOXニュースの看板番組を4月に降板した司会者タッカー・カールソン氏は9日、短文投稿サイト、ツイッター上で近く新番組を始めると表明した。

カールソン氏は「報道の自由が認められている最後の大きな舞台がツイッターだ」として、新聞やテレビを論難した。カールソン氏は約3分間の動画をツイッターに投稿し、FOXニュースで「6年半続けた番組の新バージョンをツイッターに持ち込む」と述べた。他にも企画が数点あるとしたが、詳細は明らかにしていない。

ロイター通信によると、カールソン氏は降板前のFOXニュースで、ツイッター運営会社の**イーロン・マスク**最高経営責任者(CEO)へのインタビューを行った。

この中で、マスク氏は自らを「言論の自由の絶対主義者」と表現し、ツイッターを利用者が多様な視点を共有できるデジタル版の討論会場にすることが目標だなどと語っていた。

カールソン氏は**全米で最も視聴者が多いケーブルテレビの看板番組の司会者**として保守層から絶大な人気を集める一方、率直な物言いと人種差別的な発言で批判されることも多かった。



米ジャーナリスト タッカー・カールソン氏の解雇理由を明かす  
[2023年5月8日, 18:11](#) © AP Photo / Richard Drew

<https://note.com/np1j2/n/n51c2c0bf7dd5>

米国のテレビ司会者タッカー・カールソン氏が 同国メディア「FOXニュース」から解雇されたのは、ウクライナとウォロディミル・ゼレンスキー大統領に関連している。

ジャーナリストのジャクソン・ヒンクル氏が、ツイッターでこのような考えを示している。

**「タッカー・カールソン氏の解雇は、ウクライナとゼレンスキー大統領の狂気を大胆不敵に報道したためだという確証を、議論の余地のない情報筋から得た」**

さらにヒンクル氏は、FOXニュースのオーナーであるルパート・マードック氏がカールソン氏のウクライナに関する立場を警戒し、同氏を解雇する前にゼレンスキー大統領と話をしたという英紙「インデペンデント」の記事へのリンクをツイッターに投稿した。

**カールソン氏はゼレンスキー大統領のことを「闇の力」、「完全破壊の道具」と呼び、当局からの圧力でウクライナ紛争の真実を黙殺する米国メディアを非難した。**

同局(FOXニュース)は、4月21日にカールソン氏の最後の番組を放送した。

同局の声明によると、カールソン氏の勤務停止は両者の合意により決定されたという。(実際は一方的な解雇)





イーロン・マスク氏が富豪世界一に返り咲き、資産25.5兆円...テスラ株が上昇  
2023/02/28

【ニューヨーク=小林泰裕】米ブルームバーグ通信は27日、**米電気自動車(EV)大手テスラのイーロン・マスク最高経営責任者(CEO)が世界一の富豪の座に返り咲いた**と報じた。保有するテスラ株の株価上昇が主な要因だ。

イーロン・マスク氏=AP ブルームバーグ通信によると、マスク氏の資産は27日時点で1871億ドル(約25.5兆円)となり、高級ブランド「ルイ・ヴィトン」などを傘下に持つ仏LVMHのベルナール・アルノーCEOの1853億ドルを上回った。

マスク氏は昨年12月、ツイッター社の買収資金を捻出するためのテスラ株売却や、それに伴うテスラ株の下落などの影響で世界一の富豪の座から陥落した。

イーロン・マスク氏は、2022年の10月にTwitterの買収を完了して、多くの幹部を解雇しました。それまでのTwitterはディープステートの傘下であり、トランプ大統領やプーチン大統領やコロナワクチンなどに関する真実のツイートをほとんどすべて削除してきました。

『天界のマシュー君からのメッセージ② 7月5日』からの抜粋

[マシュー君のメッセージ\(187\)](#) 2022年6月2日

闇の影響、地球外生命体の支援、ロシアとウクライナ、低い波動エネルギー、進行中の活動、

**イーロン・マスク、墮胎**

前略

イーロン・マスクは、**光と闇のどちらのためにはたらいっているのですか**、という質問を受けました。

そうですね、彼と一緒に仕事をしているグループについて言えば、“友は近くに、敵はもっと近くに”というのが当てはまるかもしれません。

しかし、成功するために、いわば“車輪の再発明”をする必要がないように、彼は光と闇の両方の組織の上部構造にアクセスする必要があると言ったほうがより正確です。

第三密度の世界では、お金が成功への道を開くのです。

したがって、**彼は自分の目的することを達成できるように、お金を十分に供給されており、彼の意図には何の闇も存在しません。**

イーロンは、スピリチュアルと意識レベルに高度に進化しているだけでなく、技術的にも最も進んだ宇宙文明社会からの数少ないボランティアの一人です。

彼は、地球文明社会が“はるかな星を目指し”、多次元宇宙ファミリーの一員として正当な地位を占めるのを助けることを使命とする、輝かしい先見の明の持ち主です。

すべての光の存在たちは彼に敬意を表し、彼の進歩と幸福を支えるために光を送っています。

後略

イーロンマスク氏により、Twitterへの真実の投稿が自由になったとは言え、ディープステートの闇を暴く投稿が急増するわけではありません。

投稿者は、その内容によっては、ディープステートからの脅迫や暗殺の対象になる可能性があるからです。

タッカーカールソン氏も、妻や娘さんも、かなりの脅迫を受けてきました。

当然、イーロンマスク氏も、かなりの脅迫や妨害を受けてきました。



タッカー・カールソン on twitter (日本語字幕)

ニコニコ動画 [jvbさん](#) 2023/06/08

このツイッターの動画の視聴回数は現在1億回を超えています。

⑩

<https://www.nicovideo.jp/watch/sm42332931>

どうも、タッカーカールソンです。

今朝、何者かがウクライナ南部の**キコフカダム**を爆破したようです。

村は全滅し、重要な水力発電所は破壊され、ヨーロッパ最大の原子炉はメルトダウンの危機に瀕しています。

もしこれが意図的なものであれば、それは軍事的な戦術ではなく、テロ行為であったこととなります。

問題は、誰がやったのか、ということだ。

まあ、見てみましょう。

キコフカダムは事実上ロシアが作ったものです。

ロシア政府によって建設され、現在はロシアの支配地域にある。

ダムの貯水池はクリミアに水を供給しており、クリミアは過去240年間、ロシアの黒海艦隊の本拠地であった。

ダムを爆破することはウクライナにとって悪いことかもしれないが、ロシアにとってはもっと痛いことである。

12月、ワシントンポスト紙は、ウクライナの将軍の言葉を引用し、部下がテスト攻撃としてダムの水門にアメリカ製のロケット弾を発射したことを明らかにした。

つまり、事実が明らかになれば、ダムに何が起こったのか、その謎はかなり薄れることになる。

昨年秋にロシアの天然ガスパイプライン「ノルドストリーム」が爆破されたように、ウクライナ側が爆破したのだろうと、公平な立場の人なら誰もが結論づけるだろう。

**そして実際、ウクライナ人が爆破したことは、現在わかっている。**

中略

**アメリカのメディア**は今朝、ロシアが自国のインフラを破壊していると、時間をおかずに非難したのです。

ビル・クリストルは、かつてサダム・フセインが9、11に責任があると言った人物だが、すぐにプーチンを戦犯として非難し、さらにドナルド・トランプと残酷に比較した。

他の専門家クラスも、同じような、明らかに協調した騒ぎを起こした。

プーチンがやった、プーチンがやった。

そして彼らの理由は単純だった。

『プーチンは悪であり、悪人は悪であることの暗い喜びのために純粋に悪事を働くのである。』

この具体的なケース(ダム爆破)では、プーチンは自分自身を攻撃した。

これは、あなたが出来る最も邪悪なことであり、したがって、そのような邪悪な男には完璧にふさわしいことである。』それが彼らの説明だった。

このような事件を取材するために給料をもらっている人たちは、ウクライナ人がやったかもしれないという可能性さえも考慮しないようです。

『ウクライナはゼレンスキーという男が率いているのはご存じのとおりです。』

そして、彼が関与していないこと、関与するはずがないことは、死ぬほど確かな事実と言える。

ゼレンスキーはテロにはあまりにまともだからです。

今、テレビで彼を見ると、確かに印象は違うかもしれない。

汗まみれでネズミのような、コメディアンからオリガルヒになった、クリスチャンを迫害する、ブラックロックの友人。

しかし、自分の目を信じてはいけない。

実は、ゼレンスキーは非常に良い人であり、本当に最高の人物である。

ジョージ・W・ブッシュがかって言ったように、彼は我々の世代のウインストン・チャーチルである。

世界のあらゆる人の中で、トラックスーツを着た、うつろで死んだような目をしたウクライナの友人は、ダムを爆破することができないユニークな存在だ。  
彼は文字通り、生きている聖人であり、罪のない男なのだ。』  
中略

共和党の大統領候補であるニッキー・ヘイリーがCNNでこの原則を説明する様子をご覧ください。  
『ウクライナの勝利は、私たち全員の勝利です。  
ウクライナが勝利することが、私たちの国家安全保障にとって最善の利益となるのです。  
私たちはこれをやり遂げなければならない。  
最後までやり遂げなければならないのです。』

ほらね。とてもわかりやすいでしょう。  
『ウクライナを支援することが極めて重要であり、ウクライナがあなたによって支援されることが必要なのです。  
それが何であれ、どういう意味であれ、終了するまであなたのサポートは必須です。  
だから黙ってウクライナを支援しないと大変なことになりますよ。』  
まだ論理学を教えていたころ、このような文はトートロジーと呼ばれていました。  
あることが真実であるのは、それが真実だからである。  
繰り返せば繰り返すほど、真実味が増す。これは自己強化的な現実です。  
かつては、同語反復は違法な議論であり、ましてや滑稽なほど愚かなものだと考えられていました。  
そんなことを言うのは馬鹿だけだ。

**しかし、今では、権力者の誰もがそのように話すようになりました。**

多様性は私たちの強みです。  
トランス女性(出生時は男性)は女性である。ゼレンスキーはチャーチルだ。  
すべて明白な真実だ。説明はいらないし、質問もいらない。  
聞き覚えがある？ もちろんそうだ。  
これが、彼らが毎日毎日、蒸し焼きにした塊のようなものを私たちに提供しているパパ(PAPA 菓子)です。  
**この時点で、アメリカ国民は世界で最も情報弱者である可能性があります。**

中略

メディアは嘘をつく。彼らはそうする。  
しかし、ほとんどの場合、彼らは重要な記事を見逃している。  
ウクライナに送った数千億ドル(数十兆円)の資金はどうなったのか？ 手がかりはない。  
3年前のBLMの暴動は誰が組織したのか？ 誰もその真相に迫っていない。  
9月11日に何が起こったのか？ それはまだ機密事項です。  
ジェフリー・エプスタインはどうやって大金をかせいだのか？ 死因は？  
JFK(ケネディ大統領)はどうなんだ？

といった具合に、果てしなく続きます。

**メディアはこのどれにも興味がないだけでなく、興味を持つ人々を積極的に敵視しています。**  
ジャーナリズムでは、好奇心は最も重大な罪である。

例えば、昨日、軍事情報に長年携わってきた元空軍将校が内部告発し、**アメリカ政府が墜落した非人間型航空機の物的証拠と、その航空機を操縦したパイロットの遺体を保有していることを明らかにした。**  
ペンタゴンは、より技術的に高度な兵器システムを構築するために、これらの異世界の遺体を何十年もかけて研究してきたのである。なるほど。  
これが、元情報将校が明らかにしたことです。  
そして彼が真実を語っていることは明らかだった。  
つまり、UFOは実際に存在する。そしてどうやら地球外生命体もそうであるらしい。  
今、私たちは知っている。

普通の国なら、このニュースは爆弾発言と認定されるでしょう。 千年に一度の大事件です。

しかし、私たちの国では、そうではない。

この内部告発は『デブリーフィング』という技術系のサイトに掲載されたのだが、おそらく聞いたこともないだろう。

ワシントンポスト紙はその記事を掲載(?)したが、掲載を見送った。

一方、ニューヨークタイムズは、何もなかったように報道した。

中略

異星人が極超音速機を飛ばし、私たちの街の上空を通過していることについては、全く触れられていない。

一言もだ。

なぜ我が国がこれほどまでに機能不全に陥っているのか、不思議に思っているのなら、これが理由の大きな部分を占めているのです。 何が起きているのか誰も知らない。

**一部の人々が全ての関連情報へのアクセスを支配している。 そして残りの人たちは知らない。**

私たちは人種差別について好きなだけ叫ぶことが許されています。

しかし、本当に重要なことについて話して、何が起ころか見てみましょう。

そうすれば、彼らはあなたを静かにさせるでしょう。

私たちが信じてください。 そうやって彼らは支配を維持しているのだ。

1970年代初頭、欧米の旅行者がソ連を大量に訪れるようになったとき、多くのロシア人がアメリカに対して完全に歪んだ理解を持っていることに気づきました。

**彼らは、アメリカ人は永久に続く人種戦争の中で貧困にあえぎ、東欧圏の自由と繁栄に逃げ込もうと必死になっていると考えていました。**

そう思っていたのは、そう聞かされていたからである。 そうでないことを知るすべはなかった。

世界で何が起きているのかを理解していた数少ないロシア人は、**短波ラジオ放送**に耳を傾け、時には隣人に聞こえないように隠れてきいていたのである。

50年経った今、この皮肉を考えるのは困惑する。

今、無知で生きているのは私たちなのです。

アメリカ政府は、いわゆる公文書を10億件以上分類することに成功した。

だから、この時点で、私たちは指導者が何をしているのか知ることはできない。

知ることは許されないのです。 定義上、それは民主主義ではありません。

しかし、メディアはそれを良しとしています。 秘密主義は、強力な支配の道具なのです。

「私たち(支配層)がどうしてそんなに金持ちになったのか、問うのはやめましょう。

人種差別に関する別の話です。 互いに潰し合え。」 それがプログラムです。

**私たちの多くは、この米国で、嘘に操られ、タブーに沈黙して、そうやって生きているのです。**

それは不健康であり、人間性を奪うものであり、私たちはもう うんざりしています。

今日、私たちは毛布の下の短波ラジオであることを望むTwitterにたどり着きました。

ここには門番がいないと聞いています。 もしそれが嘘だとわかったら、私たちはここを去ります。

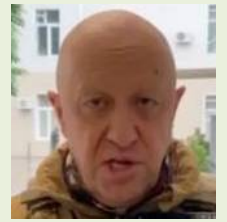
でも、それまでは、ここにいられることに感謝しています。

またすぐに、続きをお届けします。

YouTubも、Twitterと同様に、ディープステートにとって都合の悪い、真実の投稿やアカウントを削除してきました。 この私のホームページでも、多くの動画が削除されています。

早く、Twitterのように、自由な投稿が実現して欲しいものです。

ワグネルはロシアの民間軍事会社。ロシアの囚人や受刑者を多く徴用している。志願兵もいて、総数は2万5千人ほど。ワグネルはウクライナ侵攻当初は、目覚ましい戦果をあげていたが、指導者のプリゴジン は途中でウクライナ、アメリカとも内通する。それを知ったロシア国防省は、ワグネル戦闘員と直接契約をすることを表明する。ワグネルは6月23日にロシアに対して武装蜂起したが、追従する武装組織が無いと分かるとプリゴジンは、24日にはモスクワへの進軍を中止し、ベラルーシのルカシェンコ大統領に仲介を依頼し、自身はベラルーシに亡命する。ワグネルの戦闘員は刑事責任を問われず、希望者は正規のロシア兵としてロシア国防省と契約できるという。



ロシア経済は絶好調



「ロシアとプーチンの現実」は欧米メディア報道と正反対  
 ロシアから戻った米軍事アナリストのスコット・リッター  
 山中泉 Sen Yamanaka  
 14,864 回視聴 2023/06/02 にライブ配信



スコット・リッター

[https://www.youtube.com/watch?v=uSQ\\_tZ6TvIQ](https://www.youtube.com/watch?v=uSQ_tZ6TvIQ)

前回のマクレガー大佐と、このスコット・リッターは非常に近い見方をしています。スコット・リッターは海兵隊の元情報将校だったひとです。国連の監視委員会のアドバイザーになったりもしているんですね。ダグレスマクレガーチャンネルがあって、そこでスコット・リッターが司会者の質問に答えて話している動画です。スコット・リッターは一カ月ほどロシアに行っていて、帰ってきたばかりだそうです。向こうの人たちと直接会ったりしながら、ロシアの現状、今ロシアで何が起きているのか。人々はプーチンに対してどんなことを考えているのか。ロシアという祖国に対して多くの人たちはどのように考えているのか。などを、軍事アナリストとしての見方をして話しています。

それではこれから、いつものように、私が画像を途中で止めたりしながら解説いたします。司会者の方が聞いたのですね。

『プーチンはどうですか。欧米の方では、癌にかかって死にかけているとか、頭がおかしくなっているとか、様々な病気だという説がありますが、どうなんですか。』

日本のメディアもそうじゃないですか。欧米のメディアのそのままが日本ですから。

朝から晩まで、プーチンおかしくなったとか、ロシアはもうすぐ崩壊だとか、いつクーデターは起きるのだろうかとか、日本の防衛研究所の方が話してましたね。

しかし、まるで全く違々と、私ずっと言ってますし、マクレガー大佐もそうですが、このスコット・リッターも今日、同じようなことを言ってるんで、お聞きになってください。

『膀胱がおかしくなったとか、肝臓がおかしくなったとか、いっぱい言われて(欧米メディアに)ますが、しかし、(プーチンは)ロシア国内の色々な所に遊説に出かけて、沢山の人の前で話しをして、自分の姿を見せしている。 —中略—

この戦争は、欧米側によって挑発されて起きた。

西側はロシアを軍事的におびき出すことをずっと狙ってた。

最初は経済制裁で、ロシアを崩壊させる。ロシア軍の崩壊もあるんじゃないか。

それによってプーチンも壊滅するだろう。マイダン革命のようなことが起きるんじゃないか、とも思った。

しかし、この考えは、見事にみじめな失敗を迎えた。』

日本(の報道)もそうじゃないですか。2月3月4月戦争が起きて、これだけ欧米と日本も含めた経済制裁によって、ロシアは、あっという間に、食料も無くなり、半導体、チップも、兵器も弾も造れなくなるであろう。それによってロシアは、すぐに負けてしまう。というような話だったんじゃないんですか。

『西側の経済制裁のターゲットとしてロシアのオルガルヒ(財閥)がいますね。非常に巨額の金を儲けた連中ですよ。天然資源、鉄、アルミ、銅、ニッケルだとか、世界最大とも言える天然資源がロシアに有って、それを取り込んだ連中がいるんですね。オルガルヒは欧米と一緒に財をなした。

オルガルヒは豪華な邸宅を持ち、豪華な生活をしている。

ロシアの一般国民は、オルガルヒを嫌っているし、プーチンも一部のオルガルヒの資産を取り上げたりしました。

多くのロシア国民は怒っている。資産がどんどん国外に持ち出されたんですね。

オルガルヒは、ロシアのための資産を自分たちの利益のために、国外に逃がした。

100兆円単位の資産が、国外に持ち去られたんですね。』

ただね、(スコット・リッターは)面白いことをいいましたね。

『この戦争(ウクライナ)が始まった。オルガルヒはまだ巨額の資産をロシア国内に持っているんだが、

もう国外に持って行けなくなった。そしてロシアに投資をするしかなくなった。

どうやって投資をしたらいいかわからないくらいのお金がロシアに余っている。

ロシアの大都市は、ほぼどこでも、クレーンがものすごい勢いで稼働して、そこら中掘り返して、そこらじゅうで再開発が進んでいる。

ロシアの大金持ちのお金がロシア投資に向かっているだけじゃなくて、Gセブン(G7は、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国の7か国)以外の、グローバルサウスと言われる国々、チャイナ、パキスタン、インド、からの巨額の投資が、今ロシアに入ってきているんです。

過去(も含めて)最も健康的な経済に、ロシアは今、この戦争が始まってなっちゃんたんです。』

中略

『ウクライナ戦争前から、バイデンさんは、アメリカのパイプライン(石油採掘)を止めちゃったんです。

それで、一気にガソリン価格が上昇していったんです。

それではインフレになるよという忠告も財務長官も、これはテンポラリ(一時的)だと、すべて無視してきた。

しかし、あまりにもガソリンは上がる、食料品価格も上がり続けてきたので、「全てこれはウクライナ戦争を起こしたプーチンのせいだ。」これが定番のお答えになった。ミスターバイデンの。

何かあって悪いことはぜーんぶプーチンだ。こういうことになりました。

さて、アメリカだけでなく、それをロシアの人たちも見てたんです。』

これは面白いですね。

『ロシアではガソリンスタンドや色々な所に貼ってあるんです。

バイデンのでかい顔写真の横に「俺がやったんだ」プーチンじゃなくて俺がやったんだと書いてある。』

そしてこの後にジョークがあるんですよ。

『今ロシアでとても流行っているジョーク。戦争が起きて経済制裁あっても、全然ロシアの経済は悪くなってない。

そしてロシア人は車のステッカーなんか貼ってある。「バイデンありがとう」「サンキュー ジョーバイデン」

こんな風に言っているとゆうんですよ。

『バイデンと、その後ろにいる、戦争を推し進めてきた世界グローバリスト連合達がロシアを挑発して戦争を

起こしたことによって、ロシア経済や、人々の生活は非常に良くなった。しかし、パーフェクトではない。

西側メディアは、ロシアの問題点、経済的、政治的、社会的な小さな問題点を取り上げて報道してるよ。

しかし、大きな視点ではロシアの経済は非常に強い。過去にないくらいに強いし、全体的には社会は

うまくいっている。』

一ヶ月前にロシアに行って、帰ってきたばかりの人がこれを言っているんですよ。

『スーパーの棚の空の所は一つもない。インフレは低い。購買力は非常に強い。

ドルに比べて、ルーブルの購買力の方が、ロシア国内では強いんですよ。

クオリティライフ(質の高い生活)も信じられないくらいいい。』

以下略